

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人東大和エネルギーの会
 代表者・役職名 氏名 共同代表 石井皆子(井上皆子) / 小倉安洋

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「Let's try! おひさま de チャージ モニターチャレンジ」プロジェクト

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2014年3月任意団体設立。東大和市で初のエネルギーの地産地消、自産自消の団体として市民共同発電所の開設に向け活動。市民共同発電所開設後は、市民一人一人の自主性によって省エネ、創エネ、非常用電源確保に取り組むべく、モニター体験等を通しての普及啓発を持続的に行っている。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

2016年にミニ発電「おひさま de チャージ」をつくり、2017年には連続講習会で省エネや創エネを継続的に考えていける人を増やした。実践に移すには実際に利用してみることが必要なので、今年度はモニターとして実際に利用してもらい、実用的なものとなるよう、データ分析を行なっていく。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

モニター機器を今回2台準備し、一人3か月間モニターとして使っていただく。
 第1期7月から9月、第2期10月から12月、第3期1月から3月として、合計6名のモニターに協力してもらおう。
 発電量、使用量、使用状況などをデータとして報告してもらおう。
 使ってよかった点や、使いにくい点なども報告してもらおうことで、より実用的で使いやすいミニ発電を追及していく。
 モニターの実際に使っている状況の見学会実施。
 年度の終わりに報告会を実施して、効果などを分析し、効果を共有する。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

6月より、東大和市民に向けモニター募集チラシを配布(対象者2500人)、モニター説明会を実施、1団体(自治会)、2個人でモニター開始、3期に分けて延べ自治会1つ、個人宅3軒に設置してデータを記録。11月「おだやかな革命」上映によりエネルギーの地産地消について共有。参加者、60名近くが参加。同時に11月から農業者、商工業者計600人にアンケート実施。市内事業者のエネルギーの地産地消への関心度をはかり、普及の手がかりを探る。同時に7月より、公共施設への再生エネルギー設備導入に向けての行政との協議を開始、継続中。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

モニターの体験を踏まえ、ひとつの自治会で非常用電源の導入を決定。個人宅でのモニターについても普通の市民がエネルギーを創出する体験の課題(周辺機器も含めた発電装置の恒常的管理の習熟)が明らかとなる。今後は、気候変動による災害に備えた非常用電源を確保するというより明確な目標を立てたモニター体験を広めていくことによって、地域全体での再生エネルギー活用を定着させていく。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

3・3 東大和でもすすめよう！ 「おだやかな革命」

みんなで考えよう！ エネルギーの地産地消

3月3日(日)

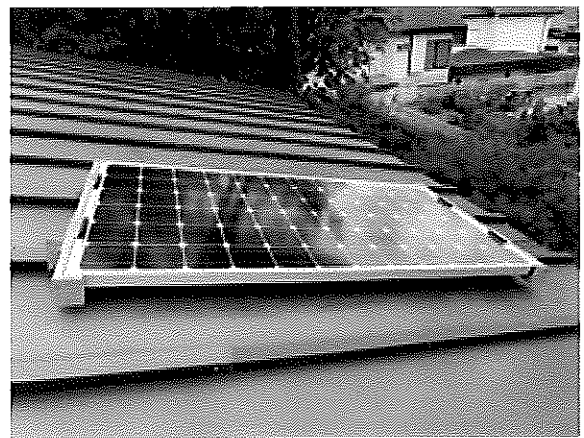
14:00～

奈良橋市民センター学習室

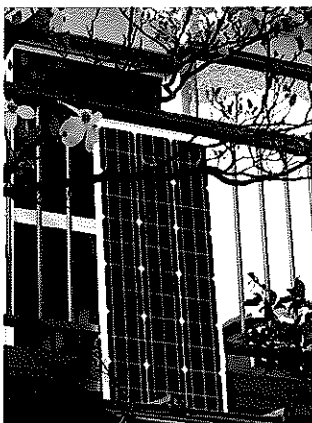
参加無料

プログラム

- *「おひさまモニター」体験報告
- *市内事業者向けアンケート
からみえるもの
- *東大和エネルギーの会からの
提言



↑多摩湖畔自治会集会所(200W)



↑第1号モニター(100W)

←100Wのパネルで発電。1日約200Wずつ発電しました。日中発電した電気は充電し、夜間にパソコンやプリンターや携帯電話の充電に利用。停電時、威力を発揮！



「NPO法人 東大和エネルギーの会」とは…2015年に発足し、市民の皆様のご協力の下、市民共同発電所1号機を設置・運営しています。災害時に非常用電源としても利用できる再生可能エネルギーの普及にも力を入れていま

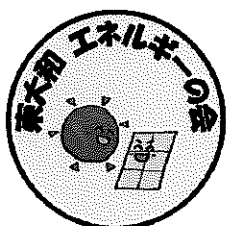
お問い合わせ・申込み先

NPO法人 東大和エネルギーの会

電話 042-566-2950

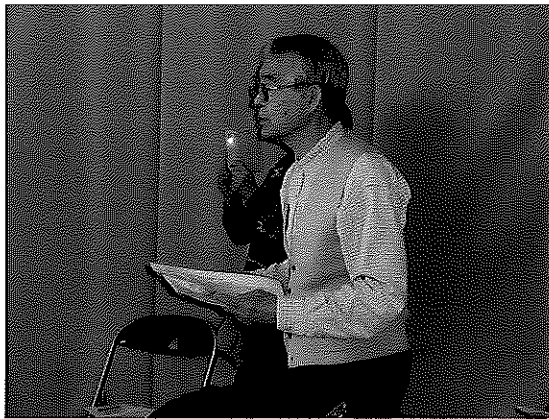
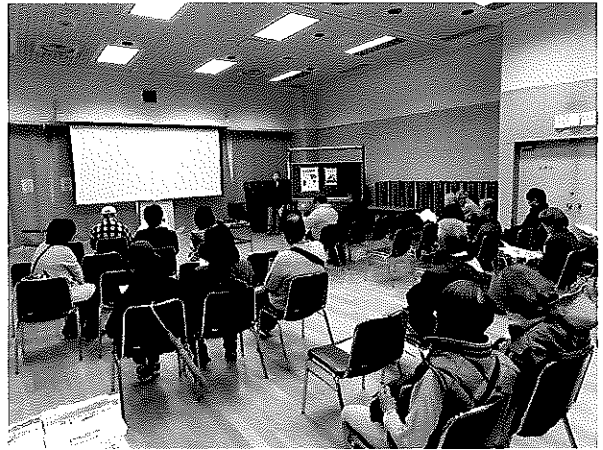
FAX 042-566-2949

MAIL yamato_2146@yahoo.co.jp


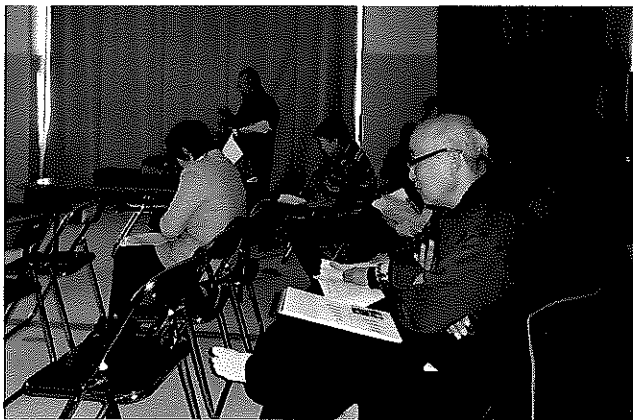


第 号
掲示期限
3/3-3
東大和市長公署

東大和エネルギーの会 2018年度の活動(写真)



今年度、災害時対策本部となる集会所での情報収集の手段として、BS放送の受信が提案され、委員会の承認を受けBSアンテナを購入し、アンテナ設置適地を確認、既存のテレビとつないで受信テストを実施した。アンテナは受信契約の関係から、災害時の緊急避難的使用に止めるため、通常時は取り外し、新たに作成したアンテナ取り付けマニュアルと共に保管する事とした。

【1】 2018.7.12 太陽光発電セットを設置した。

100w 太陽光パネル

2018.7.12 丸瀬野三




「パネル発電はCO₂を出さないといいけど、パネル製造時に多くの化石エネルギーを消費しているのって？」

製造に最もエネルギーを要する結晶Si太陽光パネルでは Si 1kgあたり 300kWh の電力が必要

→ Si 1kgはパネル面積 1.5m²に相当 (厚さ200μm、切り代 100μm)

→ Si結晶製造時の上記電力は1年で発電、他のプロセスの電力を含めてもほぼ2年で元を取る

